

第4節 海浜青年の家の主催事業

1 集団宿泊指導担当者研修会

(1) 趣 旨

学校教育と社会教育との連携を具体的に推進し、児童・生徒の全人的な育成に資するため、青年の家における児童・生徒を対象とした集団宿泊指導の効果的な運営を図るため、内容、方法、施設の利用等について研修する。

(2) 期日・会場・参加者

- ① 期 日 昭和51年1月27日～28日
- ② 会 場 福島県海浜青年の家
- ③ 参加者 県内小・中・高等学校の教員 71名

(3) 講 師

郡山女子大学教授 長谷川 寿 郎

(4) 助 言 者

福島県海浜青年の家 指導職員

(5) 研 修 内 容

- ① 講 義 「集団宿泊指導の意義」
- ② 事例研究 「青年の家における宿泊研修について」
- ③ 研究協議
ア、集団宿泊研修の意義
イ、集団宿泊研修の企画と展開

2 昭和50年度福島県青年学級生大会

(1) 趣 旨

県内の青年学級生代表が一堂に会し、共同宿泊研修を通じて相互の交歓を図り、学習のあり方、及び当面する諸問

題について研修し、県内青年学級の振興に資する。

(2) 期日・会場・参加者

- ① 期 日 昭和51年2月18日～21日
- ② 会 場 福島県海浜青年の家
- ③ 参加者 県内青年学級（教室）の代表者
社会教育行政担当者、青年学級担当者 88名

(3) 講 師

早稲田大学教育学部 教授 日高 幸男
日本山岳会エベレスト女子登山隊
登はん隊長 田部井淳子

(4) 助 言 者

福島県教育庁社会教育課 社会教育主事
福島県教育庁各教育事務所 社会教育主事
福島県公民館連絡協議会 関係者
福島県海浜青年の家 指導職員

(5) 研 修 内 容

- ① 懇 談 会 「知事と語る」 福島県知事 木村 守江
- ② 講 義 「学習活動のあり方」
——青年学級の歴史と今後の方向——
- ③ 講 演 「わたしと登山」
- ④ 討 義 「望ましい青年学級の学習活動を
どのようにすればよいか」
3分散会、担当者部会
- ⑤ 野外活動 （コース別）
文化財めぐり、ハイキング、OL
- ⑥ そ の 他 交歓のつどい、フォークダンスの夕べ
キャンドルサービス